

教 師 ノ ー ト

日付	2021年 4月 4日
単元	イースター
テーマ	復活
タイトル	復活の朝におこったこと
テキスト	ルカ24:1-12
参照箇所	マタイ:28:1-10、マルコ16:1-8、ヨハネ20:1-10
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	ルカ24:6
AG 日曜学校教案参照箇所	

□ 導入

今日はイースターです。イースターおめでとうございます。ところでイースターというのは何の日か知っていますか？それは、イエス様が死から復活したことをお祝いする日です。今日はこの復活の出来事についてお話しをします。

□ ポイント1 女の人たちはイエス様のお墓に行きました(1-2節)

先週お話ししたように、イエス様は十字架につけられ殺されてしまいました。イエス様はそのあとどうなったのでしょうか？実は亡くなったイエス様のお体は、議員の一人でヨセフという人が引き取りました。そしてその体は、岩を切り抜いたお墓の中に置かれました。体は白い布でぐるぐるに巻かれたのでした。本当ならば、身近にいた弟子たちがしなければならないことなのに、彼らは怖くなって逃げてしまったのです。

イエス様のお墓の入り口には大きな石が置かれていました。イエス様がお墓に納められた金曜日の夕方から安息日が始まりました。安息日は、すべての仕事を休んで静まって神様のことを思うようにと定められた日です。遠くまで出歩くことも許されていませんでした。イエス様に従っていた女の人たちは、安息日が終わったらイエス様のお墓に行こうと準備をしていました。この女の人たちは、大好きなイエス様が十字架にかけられた時、泣きながら遠くで見守っていた人たちです。そして、イエス様が葬られる時、お墓までついて行って場所を覚えておきました。大好きなイエス様のために出来る限りのことをしてあげたいと思ったからです。彼女たちは、イエス様のお体に香りのよい油を塗りに行くことにしました。日曜日の朝、まだ暗いうちにお墓に向かいました。

でも、ちょっと心配なことがありました。イエス様のお墓の入り口には、大きな石がありふさがっていたのです。女の人々の力では、とても動かすことができないほど大きくて重い石です。「だれか石をどかしてくれるといいんだけど。」そんなことを話していました。お墓に着いたところで、自分たちには何もできないことを知っていたと思います。しかし女の人たちは、イエス様が大好きでしたから、お墓へと足を運ばずにはいられなかったのです。丁度、太陽がのぼる頃、女の人たちはイエス様のお墓に到着しました。

□ ポイント2 イエス様のお体はお墓にはありませんでした(2-8節)

お墓に着いた女の人たちは驚きました。なんと入り口の大きな石がわきに転がっていたのです。「いったいだれが転がしたのでしょうか。」彼女たちは不思議に思いました。そして恐る恐る墓の中をのぞき、中に入りました。なんとびっくりです。イエス様のお体がありませんでした。そこにはお体に巻いてあった布が置いてあるだけでした。いったいどういうことでしょうか。女の人たちは、お墓の中が空っぽなので、どうすればいいのかわからないうちにいました。

その時、光り輝く衣を着た二人の人が近づいてきました。女の人たちは怖くなって、地面に顔を伏せました。その人たちは天使でした。天使はすばらしい知らせを告げたのです。『イエス様は生きていらっしゃるの

に、どうしてお墓の中を探すのですか。無駄なことですよ。ここにはいらっしやいません。イエス様はよみがえったのです。ガリラヤにいる頃、イエス様がお話しされたことを思い出さない」
さらに、「イエス様ご自身が、『わたしは十字架につけられ、三日目によみがえる』とおっしゃっていたでしょう」と言いました。婦人たちはイエス様のおことばを思い出しました。確かにイエス様は、ご自分の十字架と復活のことをおっしゃっていました。でもそのことを聞いた時には、イエス様のおことばの意味がわかりませんでした。しかしイエス様がおっしゃったとおりになったのです。

□ポイント3 女の人たちは急いで弟子たちに伝えました(9-12節)

女の人たちは急いで弟子たちのもとに向かいました。そしてこのすばらしいニュースを知らせました。
「みなさん、イエス様はよみがえりました。今、お墓に行ったら、天使があらわれ、そう言っていました。」
それを聞いて、弟子たちはどうしたと思いますか。この素晴らしいニュースを弟子たちはすぐに信じなかったのです。

「そんなことがあるわけない。何をくだらないことを言ってるんだ」と、いくら本当だと言っても、「そんなバカな。生き返るなんて信じられないよ」

と、誰も信じませんでした。しかし、ペテロとヨハネだけは、「もしかすると」と思って、お墓に向かって走りだしました。

二人は走りながら、「彼女たちは勘違いしたんじゃないか?」「イエス様は死んだんだよ。僕は三日前に死ぬのをこの目でちゃんと見たんだから。」とっていました。

二人はお墓に到着しました。お墓はマリヤの言うようにあいていて、大きな重い石はころがされていました。二人はびっくりしながらお墓にはいりました。はいると、イエス様のお体を巻いた布が、きちんとたたまれて置いてあるのを見ました。

本当にイエス様のお体はありません。二人は「わからない。とにかく帰ろう。イエス様のお体がなくなっていることは確かだ。」と言い町へ帰って行きました。

□結論 イエス様はよみがえられました

イエス様の復活は、本当にあったのです。そしてこの復活の事実があったからこそ、神様の救いが完成し、私たちは確かに罪赦され、主と共に生きる道が開かれたのです。

□適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

1. イエス様は今も生きておられます。そして天国から私たちをいつも見ておられます。それだけではありません。イエス様をお願いをすれば、私たちの心の中に住んで下さいます。そして目には見えなくても、私たちと一緒にいて下さるのです。私たちが信じている神様は、本当にすばらしいお方です。今日あなたもこのイエス様を信じませんか？
2. イエス様は十字架にかかり確かに死んだのです。死んだ人が生き返ることはありません。では、イエス様はなぜよみがえることが出来たと思いますか。それは、イエス様が神の子だからです。イエス様は、よみがえることによって死の力と罪の力に勝利をされたことを示されたのです。私たちは弱く罪に負けてしまいます。しかし罪の力に勝利をされたイエス様を信じるならば、私たちも罪に勝利することができます。今日あなたもこのイエス様を信じてお祈りをしましょう。